

キッコーマン総合病院にて大腿骨近位部骨折(大腿骨頸部骨折、大腿骨転子部骨折)で診断および手術を受けられた患者さんおよびそのご家族の方へ

キッコーマン総合病院では下記の臨床研究を実施しております。本研究の対象者に該当する方で診療情報を利用することへ同意されない場合、お手数ですがリハビリテーションセンターに常備している意思確認書をご提出ください。意思確認書は、ホームページからもダウンロードできます。

【研究課題】

地域包括ケア病棟の大腿骨近位部骨折患者における自宅退院の可否に関する因子の検討

【研究責任者】

リハビリテーションセンター 主任 中田 将太

【研究の目的】

地域包括ケア病棟に入棟した大腿骨近位部骨折患者の自宅退院の可否に関する因子の検討を行い、自宅退院例の特徴を明らかにすることです。

【研究の期間】

2022年6月1日～2024年6月30日

【研究の方法】

○対象となる患者さん

2022年6月1日～2024年6月30日までに当院で大腿骨近位部骨折により手術を受け、地域包括ケア病棟を退院された方

○研究に用いる試料・情報の種類

試料:なし

情報:

- 基本情報(年齢、性別、骨折型)
- 入院情報(入院から地域包括ケア病棟転棟までの期間、地域包括ケア病棟入院期間、在院日数、一日平均疾患別リハビリテーション算定単位数)

- 患者情報(自宅での同居者数、入院前の介護保険における要介護度)
- 臨床情報(機能的自立度評価 FIM[Functional Independence Measure])

【研究の資金源】

なし

【利益相反】

本研究に関して、開示すべき利益相反関係はありません。

【個人情報の保護】

この研究に関わって収集される情報は、匿名化した上外部に漏洩することのないよう慎重に取り扱います。収集した情報は厳重な管理のもと研究終了後5年間保存されます。保管期間終了後にはデータを消去することで廃棄します。ご希望があれば研究計画書および関連資料を閲覧することができますのでお申し出ください。

◎意思確認書の提出可能期間は2024年9月30日までとします。この研究のためにご自分(あるいはご家族)の情報を使用してほしくない場合は、意思確認書をご提出ください。研究に参加いただけない場合でも、不利益が生じることはありません。意思確認書の提出がない場合は、ご同意いただいたものとさせていただきます。

◎研究の成果は個人情報が明らかにならないようにし、学会発表等で公表します。尚、あなたへの謝金はございません。この研究について分からないことや聞きたいこと、何か心配なことがありましたらお気軽に下記の連絡先までお問い合わせください。

2023年9月

【問い合わせ先】

キッコーマン総合病院リハビリテーションセンター

〒278-0005 千葉県野田市宮崎100

電話:04-7123-5911

研究責任者:中田 将太